

ネプラス工法には「縦断タイプ」と「横断タイプ」があります。

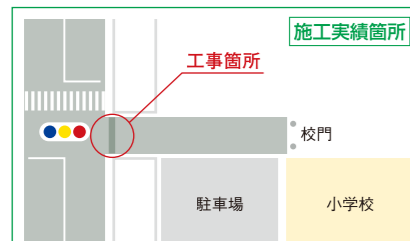
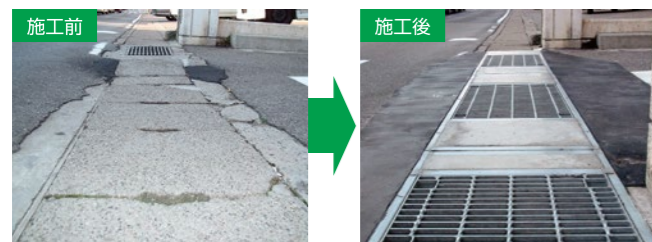
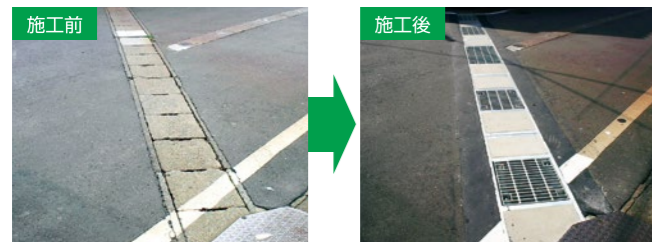
地方財政の現状を考えると、道路の維持整備には一層の効率化が求められます。「ネプラス工法」は道路側溝の修繕に画期的な方法を提案します。

施工タイプ別 選定図

ネプラス工法の大きなポイントは、側溝の傷んだ部分だけを切り取り、そこに専用の改修用製品をはめこむだけのまったく新しい工法だという点。改修用製品には大きく分け横断タイプ、縦断タイプの2種類があります。施工箇所の条件により使い分けてください。ネプラス工法は、道路を横断して布設されている側溝、ブロック塀などの構造物に沿って布設されている側溝にその威力を発揮します。また、その特長を活かし、用水路や流雪溝、集水樹などにも対応しています。

横断タイプ

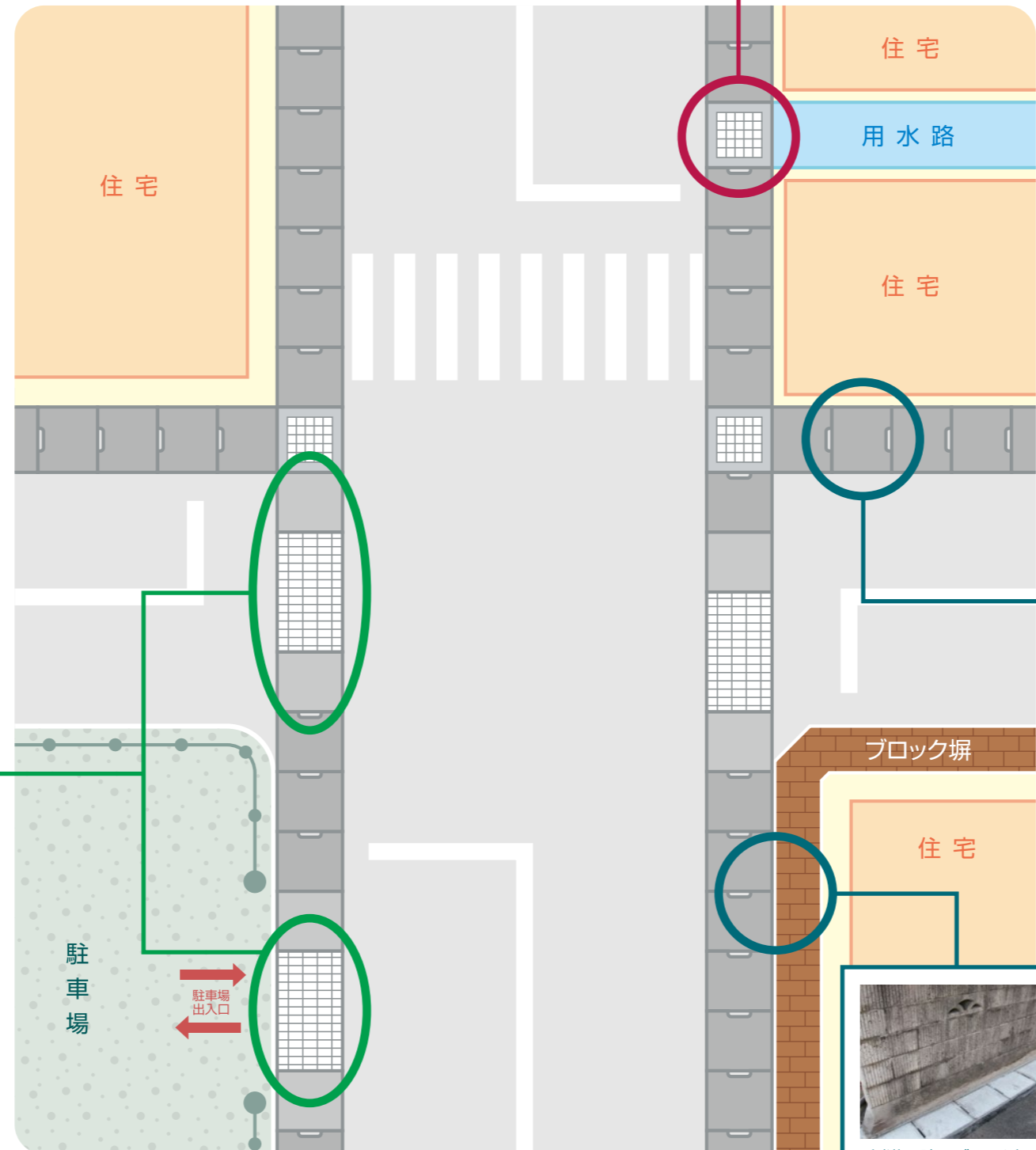
道路横断箇所や車両の乗り入れ口に適した「横断タイプ」。コンクリート部分はアングルと一体化しており、強度があるので、長期の使用が可能です。



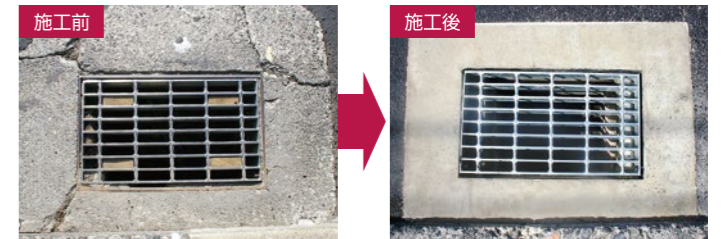
こんなところに ネプラス工法

～1日で交通を開放します～

- ・渋滞する道路に沿っているので、片側交互通行にしたいくない。
- ・工事箇所の先が袋小路になっており、迂回路がない。長期間の工事はできない。



集水樹



縦断タイプ

一般的な道路側溝に用いる「縦断タイプ」。縦断タイプには写真の他にも様々なレパートリーがあり、現場に合った製品を選ぶことができます。



【路側タイプ施工例】



【消音タイプ(施工後)】



【スリットタイプ(施工後)】



側溝の脇にブロック塀が近接していても施工可能

【埋設タイプ(大型水路)】

